

第13回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 議事録

1. 開催日時 平成25年12月24日(火) 13:00~15:00

2. 開催場所 奈良市役所中央棟6階 正庁

3. 出席者

会長	奈良市長
副会長	京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授
委員	近畿運輸局奈良運輸支局長
委員	近畿地方整備局奈良国道事務所長
委員	奈良市自治連合会代表
委員	社団法人奈良市商店街振興会長(代理)
委員	社団法人奈良市観光協会会長(代理)
委員	西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部総務企画課長(代理)
委員	近畿日本鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部営業企画部長(代理)
委員	社団法人奈良県バス協会専務理事
委員	奈良交通株式会社乗合事業部長
委員	奈良県タクシー協会専務理事
委員	奈良県タクシー協会奈良市部会代表(代理)
委員	奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長(代理)
委員	奈良県奈良警察署長(代理)
委員	奈良県警察本部交通部交通規制課長(代理)
委員	奈良県奈良土木事務所長
委員	奈良県県土マネジメント部次長
委員	奈良市都市整備部長

事務局 奈良県県土マネジメント部道路環境課
奈良市都市整備部交通政策課

4. 議事

◆事務局からの説明

〈観光交通対策について〉

- ・平成 25 年度秋の取組結果（速報）及び、なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行について
- 〈奈良中心市街地公共交通総合連携計画について〉
- ・次期計画（案）について

◆審議内容（主な意見）

（1）観光交通対策について

- ・平成 25 年のぐるっとバス利用者数が平成 24 年に比べ増加しているのは、平城宮跡ルートは、運賃を 200 円から 100 円に値下げしたこと、奈良公園ルートについては、これまで奈良公園内と県庁を結んでいたルートを、近鉄奈良駅や J R 奈良駅まで延伸したことが要因と考えられる。
- ・これまでの交通対策の取組結果として、県庁東交差点の渋滞長は、東側の大阪方面については、減少傾向にあるといえる。県庁東交差点の北側からの渋滞長は増加しており、般若寺交差点から詰まっていることもあるので、これに対する対応が必要。

○なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行について、事務局の提案内容で了解されました。

（2）奈良中心市街地公共交通総合連携計画（案）について

- ・ぐるっとバス奈良公園ルートは、奈良公園内を通過して県庁に向かうルートとなっているが、渋滞緩和の視点と、中心市街地活性化の視点のバランスを考慮し、奈良公園を観光した後にならまちにも寄ってもらえるよう、ならまち通りを東から西へ向かうルートも検討してみてはどうか。
- ・前回の協議会に引き続き、現連携計画の達成状況の報告が必須である。目標の達成評価をした上で、議論する必要がある。
- ・計画（案）の中で、公共交通分担率の向上があるが、自動車利用からのモーダルシフトを実施して公共交通分担率を向上させるということであれば、自動車利用者をターゲットに考える必要がある。計画立案に際して、目標値と施策を精査する必要がある。
- ・現状の課題を把握するための数値精度を高め、現連携計画の 3 年間の実績に対する評価に基づき、次の目標設定に活かせるようにして欲しい。
- ・計画（案）P 39 に記載の大宮通りの平均旅行速度について、東行きの方が旅行速度が速くなっているのはなぜか、原因の分析が必要。

・マイカー通勤から公共交通利用への転換について、目標値が「より多くの人をマイカーから転換」とあるが、まず奈良市役所が事業所の模範となるよう率先して転換を図り、事業を進めるよう数値目標を精査されたい。

・今回の連携計画では行政が取り組むものが多いが、事業所の責任や役割を銘打つことは重要であるので、エコ通勤優良事業所認証制度を具体的な施策にあげ、奈良市役所がリーダーシップを発揮し、まず行政から進めていきたい。

・平成 25 年度秋期のパーク&ライド実施期間中に、奈良市役所駐車場が満車となる日もあったため、対応策の検討も必要。

・ぐるっとバスが国道 24 号高架下駐車場まで運行すれば、国道 24 号高架下駐車場で実施しているパーク&ライドの利用者数が増加する可能性があるのではないか。

・計画（案）の中で目標の一つとして掲げている奈良市観光入込客数については、1,500 万人というきりの良い数字にすべき。

○今回の議論をふまえ、次回協議会において奈良中心市街地公共交通総合連携計画を策定する事となりました。

以上